

医療、介護の充実、新しい社会保障の地平線を切り開く

2011
年度

人権を考える学習集会

日時

2011年12月3日(土) 午後1時30分～午後4時

会場

岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室

岡山市北区春日町5-6 TEL086-233-8311 (会場に有料駐車場有り、付近に市役所
駐車場もありますが、なるべく公共交通機
関をご利用ください。)

参加費

1,000円

講演

社会保障の拡充には何が必要か

— 税と社会保障の一体改革を考える —

講師

唐鎌 直義(からかま・なおよし)さん

プロフィール

1952年生/社会保障研究家・元専修大学経済学部教授

著書「日本の高齢者は本当にゆたかか(萌文社、2002年)」

「どうする!あなたの社会保障①～④(旬報社)編、2008年」など

政府は「税と社会保障の一体改革」を準備しています。その基本姿勢は、「自助」を基本として「共助」で補完、そのうえで対応できないものを「公助」とし、「公助」は社会保険方式を基本として給付削減の方向を打ち出しています。具体的には、年金額に合わせた生活保護水準の引き下げ、医療・介護・保育・障害の各分野の利用者負担の総額に上限を設ける「総合合算制度」の新設、年金支給年齢の先延ばし、などが消費税増税論議と束になって目論まれています。

また、民主党政権下での介護保険見直しは、団塊の世代が75歳以上となる2025年にむけて戦略を組み立て、利用料の2割負担、ケアプラン料1割負担、軽度者の介護保険からの排除などを基本としています。

これら、政府がすすめる構造改革は、東日本大震災復興の財源まで口実にして自己責任論をさらに強めようとしています。

こういう今こそ、患者さん、利用者さんも含めた私たち住民が希望を持って生きられる社会をつくるために社会保障の拡充が求められています。社会保障研究家の唐鎌先生の講演を聞いて、ぜひ、ご一緒に考えてみませんか。

主催 NPO法人 地域人権みんなの会

〒700-0054 岡山市北区下伊福西町1-53 岡山県民主会館

TEL086-254-9555 もしくは 086-253-2611

FAX086-253-6722

後援 (財)岡山県民主教育研究会

助成 岡山市(人権啓発活動補助金対象事業)

